



ELECTRONICS DEVELOPMENT COMPUTER COLLEGE

電子開発学園 学園本部

東京都中野区中野5-62-1
www.edc.ac.jp/

- ・北海道情報専門学校
- ・新潟情報専門学校
- ・名古屋情報メディア専門学校
- ・大阪情報専門学校
- ・広島情報専門学校
- ・KCS北九州情報専門学校
- ・KCS福岡情報専門学校
- ・KCS大分情報専門学校
- ・KCS鹿児島情報専門学校

「CompTIA Network+は、どのIT分野においても修得すべき必須の技術・知識であると考え、システム開発を学ぶ全学科・コース・専攻で取り組んでいます。」

教育企画室長
白木 祐二 様

導入のCompTIA認定資格

- CompTIA Network+

CompTIA日本支局

東京都千代田区神田三崎町
3-4-9 水道橋MSビル7F
www.comptia.jp

CompTIAは、1982年、IT業界の要請から発足した非営利の業界団体です。ITに携わる企業や個人の利益を高めるため、「教育」、CompTIA認定資格での「認定」、IT業界の声を反映しIT政策に反映するための「政策支援活動」、IT業界への「社会貢献」の4つを柱として活動を続けています。米国シカゴ本部を中心に世界に10の拠点をもち、2001年に日本支局が設立されています。

知識教育と実践教育をシームレスにつなぐ CompTIA Network+をカリキュラムに導入

知識と実践力を兼ね備えたネットワーク人材を輩出するためCompTIAを採用

取得対象者

システム開発系の全学科・コース・専攻

取り組みの背景

1968年の開設以来「IT人材育成に関する国策の推進役を担うとともに、IT企業が求める実践的なIT人材を育成することにより、情報社会の進展に寄与する」を理念に、プログラミング教育一筋でIT教育を行ってきた電子開発学園。

知識修得の証として経済産業省がすすめる「情報処理技術者試験」の取得に力を入れてきた一方、企業が求める実践力を身に付けるため、グループ企業との連携により最新の実践教育をカリキュラムに取り入れてきました。

その中で、知識教育と実践力をシームレスにつなぐカリキュラムとして平成25年度から「CompTIA Network+」を導入。ベンダーニュートラルかつ実務視点の知識教育であるCompTIA Network+認定資格は、知識教育と実践教育をシームレスにつなぐ役割を果たしています。また、ネットワークに特化した学科だけではなく、全てのシステム開発系学科・コース・専攻において、ITにおける基盤技術として、このCompTIA Network+のカリキュラムを積極的に取り入れました。

CompTIA Network+認定資格をカリキュラムに導入



CompTIA Network+は、ネットワーク技術に携わる職種において、実務上共通して必須となるネットワークの構成、運用、トラブルシューティング等のスキル、さらにセキュリティに関連するスキルを評価する認定資格。

取り組み

CompTIA Network+をシステム開発系標準カリキュラムに設置

- 試験合格のための対策授業ではなく、1年生後期の正規授業として科目を設定



※ネットワーク系専攻・コースにおける科目体系イメージ

遠隔教育システム「PINE-NET II」での全校統一授業として展開

- 系列全校での統一品質確保 及び CompTIA試験のバージョンアップに即座に対応できるよう、遠隔教育システムを使った授業科目として展開

「情報処理安全確保支援士試験免除対象学科等認定」制度の科目として申請・認可

- 平成30年4月に、専門学校として日本で最初に認可された「情報処理安全確保支援士試験免除対象学科等認定」制度の申請において、CompTIA Network+の授業を科目(一部)として申請

「電子開発学園は、eDCグループの一員として、企業((株)エスシーシー、宇宙技術開発(株))、研究機関(北海道情報技術研究所)及び大学(北海道情報大学)と連携した産学研協同による実践的なIT人材を育成しています。実践的な人材育成には、学んだ知識を実践力に結び付けていく教育が必要であり、CompTIA Network+が、ネットワーク分野の知識教育と実践教育をつなぐ役割を果たしています。」

専門学校事業本部
常務理事 上原 利数 様

CompTIA®